

(様式第2号)

地域振興推進費事業実績・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	11	課題区分	A	令和3年3月31日
横断的な課題						
地域重点政策	「木曾らしさ」を活かした観光地域づくり					木曾地域振興局
実施機関	木曾地域振興局			担当課	所属	農業農村支援センター
事業名	木曾地域スマート農業体験事業				電話	0264(25)2221
					E-mail	kiso-nogyo@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	スマート農業技術を加速的に普及し、園芸品目の生産性の向上や省力化を図る。				
	現状と課題	木曾地域では、地域ブランドとして「御嶽はくさい」が定着しているものの、生産者の高齢化等により生産量が減少し、産地としての維持対策が急務となっている。 特にハクサイは重量野菜であり、農家にとって大きな労力負担となっているため、労力の軽減による生産性向上が課題となっている。				
	内容 (変更後の内容)	農作業の労力軽減対策の一環として、メーカーから借り上げたアシストスーツを農家に貸与するとともに、作業状況等を調査し、その効果や導入にあたっての課題を検証する。				
	事業期間	令和2年7月9日		～	令和2年8月30日	
事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考		
	木曾地域スマート農業体験事業	アシストスーツをメーカーから借り入れ、はくさい生産者に貸与し、導入の効果や課題を検証する。	146,300	アシストスーツリース料		
	合計		146,300			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	アシストスーツの導入効果検証		4人	7人	● 達成	
					○ 一部達成	
					○ 未達成	
事業実績・成果	2種類のアシストスーツを借り入れ、管内のハクサイ生産者に貸与し、労力節減に繋げるための導入効果を検証した。 実人数7人(延べ12人)が農作業時にアシストスーツの着用を体験し、使用感、サポート効果、改善点など総合的に評価していただき、現地導入のために必要なデータを収集した。 今回の取り組みから、中腰姿勢に対するサポート効果は見られたものの、長時間装着した場合、肩や太ももへの加重負担や痛みを感じる生産者が多く、また個人で購入するには、値段が高額という意見があり、現地導入にあたっての課題を把握することができた。なお、これら課題はメーカーに伝達済。					
	機種及び期間 1 サポートジャケットEp+ROBO(令和2年7月9日から9月8日まで) 2 マッスルスーツEdge(令和2年7月9日から8月30日まで)					
		農作業に適したより使いやすいアシストスーツの開発に向け、メーカーに改良点等を提案する。				